

1. 環境について学び行動できる地域社会づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R8	R14	R3年度成果(目標値または前年度との比較)	今後の課題および改善策
環境学習および活動の企画・実施サポート件数	件	環境政策課	目標値	/	/	240	300	新型コロナウイルス感染症の影響で各取組が減少していたR2年度と比較して、教材貸出数や活動支援数、貸借件数が増加したため。	市民が環境に関心を持ち、様々な環境学習が行えるよう、市ホームページやイベント等で環境学習情報を発信するとともに、講師派遣や貸出教材のさらなる充実を図る。また、R4年度よりくさつエコスタイルプラザの運営を含む環境学習啓発業務の一部を外部団体に委託しており、内容や啓発方法の充実に向けてさらなる推進を図る。
			実績値	113	165	/	/		
こども環境会議参加団体数	団体	環境政策課	目標値	/	/	78	90	新型コロナウイルス感染症禍での新たな手法として交流の部をオンライン開催とする準備を進めたことや、YouTube「くさつチャンネル」による環境学習活動の発信等を行った。交流の部は中止となったが、今後に向けて新たな手法の検討を行うことができた。	こども環境会議では、交流やつながりが深まるよう実行委員会において内容の充実を図るとともに、開催について広報等で周知を行い、事業所、団体、大学等多様な参加が図れるよう参加の呼びかけを行う。
			実績値	0	46	/	/		

2. 気候変動への対策(緩和と適応)

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R8	R14	R3年度成果(目標値または前年度との比較)	今後の課題および改善策
愛する地球のために約束する協定者数	者	温暖化対策室	目標値	/	/	80	110	新たに2者と協定を締結することができたが、さらなる協定者増加に繋がるよう、周知活動などを強化する必要がある。	商工観光労政課やまちづくり協議会などと連携しながら、市内企業や各まちづくり協議会との協定締結につなげていく必要がある。また、協定締結や、更新にかかる事務の負担を削減し、より締結内容に取り組みやすくなるような方法をアピールしていく。
			実績値	52	54	/	/		
地球温暖化対策に取り組む市民の割合	%	温暖化対策室	目標値	/	/	50.3	62.3	R3年12月のゼロカーボンシティ宣言後の市民意識調査の結果であるが、宣言が市民に浸透しておらず、また、「地球温暖化対策」と「ゼロカーボン」「脱炭素」のつながりが十分理解されていない可能性がある。	R5年度にかけて、宣言の周知と「くさつゼロカーボンアクション」の普及・啓発を推進するとともに、地球温暖化対策との関係性についての理解促進に取り組む。
			実績値	38.3	37.0	/	/		

3. 資源循環型社会の構築

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R8	R14	R3年度成果(目標値または前年度との比較)	今後の課題および改善策
1人1日当たりの家庭系ごみ量(集団回収量含む)	g	資源循環推進課	目標値	/	/	516.0	509.0	R3年度目標値である1人1日あたりの家庭系ごみ排出量(集団回収量を含む)553.5gに対して、R3年度実績値は542.8gとなり、目標値を達成することができた。主に家庭系ごみ排出量が減少したことによるものと考えられる。	ごみの発生抑制と再使用を進める取組に重点を置きつつ、取組を進めてもなお、排出されるごみについては、できる限り資源物としてリサイクルするため、適切な分別に向けた取組を推進する。
			実績値	557.4	542.8	/	/		
1人1日当たりの事業系ごみ量	g	資源循環推進課	目標値	/	/	244.3	244.3	R3年度目標値である市民1人1日当たりの事業系ごみ量260.5gに対して、R3年度実績値は239.6gと目標を達成している。R2年度に比べ、増加している主な要因としては、新型コロナウイルス感染症の拡大によって自粛されていた外出が、感染症対策を徹底しながら、徐々に再開されたこと等の影響により、市内から排出される厨芥類等の事業系ごみ量が増加したことが考えられる。	引き続き、事業所に対するごみの分別徹底の周知を行うとともに、古紙の持込を抑えるため、古紙類のリサイクルルートへの誘導など、資源化に向けた取組を進める。
			実績値	232.4	239.6	/	/		

4. 自然とともに生活する環境づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R8	R14	R3年度成果(目標値または前年度との比較)	今後の課題および改善策
生物多様性保全対策での外来生物の捕獲数(対象:アライグマ、ハクビシン、ヌートリア)	頭	環境政策課	目標値	/	/	110	140	R2年度と比較し、農業被害防止を目的とした農家からの捕獲依頼が減少したため、捕獲実績が減少した。	市ホームページや広報、各種イベント等で外来生物に関する周知啓発を積極的に行うとともに、市内で外来生物の目撃情報や捕獲依頼があれば速やかに対応を行う。
			実績値	62	30	/	/		
生物多様性保全の学習会への参加者数	者	環境政策課	目標値	/	/	5	10	総合的に環境が学べるモデル地域を2学区(志津、笠縫東)設定し、関係機関、地域、団体等と協議を重ねて、R4年度からの事業展開に向けた調整を行った。	重点事業1「いきもの自然学校」については、受講者が自然に関心を持ち、地域の自然環境の保全・創出につながる事業を目指し、モデル地域で環境学習の企画運営を行ういきもの自然コーディネーターの育成に向けて、生物多様性保全の学習会への参加を促していく。
			実績値	0	0	/	/		

5. 健全な生活環境の保全

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R8	R14	R3年度成果(目標値または前年度との比較)	今後の課題および改善策
河川の水質における環境管理基準(BOD)の達成状況	達成回数 / 調査回数	環境政策課	目標値	/	/	24/24	24/24	R2年度と比較し、達成回数は増加しているものの、狼川が4回未達成となったため、狼川流域周辺の事業所の排水調査を重点的に実施するなど原因究明を行ったが、原因の特定には至らなかった。	河川監視の強化、規制対象の事業所の排水調査に努めるとともに、規制対象外の事業所に対しても啓発等を行っていく必要がある。また、特異な状況が確認された際には、河川上流において原因調査を行うとともに、流域の事業所指導を強化していく必要がある。
			実績値	18/24	20/24	/	/		
法令に基づいた指導件数	件	環境政策課	目標値	/	/	26	20	R2年度事業所立入は新型コロナウイルス感染症禍により従来の工場立入調査に替わる書面調査を行ったため、指導件数は例年と比べ減少した。R3年度は従来どおりの立入実施とし、立入件数を維持したが、指導件数は新型コロナウイルス感染症禍前と比較し減少した。	事業所立入を計画的に実施し、法令に基づく改善指導や届出指導を行いながら、事業所の自発的な法令遵守につながるよう啓発を行っていく必要がある。
			実績値	15	28	/	/		

6. うるおい豊かな快適環境づくり

達成目標	単位	担当課		R2	R3	R9*	R14	R3年度成果(目標値または前年度との比較)	今後の課題および改善策
市民1人当たり都市公園などの面積	m ² /人	公園緑地課	目標値	/	/	6.7	6.9	第3次草津市みどりの基本計画に基づき、都市公園の整備に向けた調整を進めた。	現在協議中の都市公園については、引き続き整備に向けて調整を進める。南草津プレミアムタウンにおける各公園については、R4年度中に整備が終了する予定であることから、地域等と連携を取りながら、円滑な利用・管理を進める必要がある。
			実績値	6.4	6.4	/	/		
「良好な景観の保全と創出」に満足している市民の割合	%	都市計画課	目標値	/	/	27.5	34.1	景観づくりに関する啓発に取り組んできた結果、地域の景観に対する注目度や評価に変化があったと推測され、調査年度により多少の増減がある。	地域の景観資源の発見と認識をさらに深めることにより、地域の景観への愛着や取り組みの機運が高まるよう、市民等の景観づくり活動を引き続き支援する。重点地区の無電柱化実施に向けた検討を進めるとともに、湖岸の視点場のPRや東海道統一案内看板の普及に向けて市民等に啓発していく。また、大津市と草津市で策定した両市共通の景観基本計画を草津市の景観計画へ反映を進めていく必要がある。
			実績値	20.9	19.0	/	/		

*第3次草津市みどりの基本計画と整合を取り、R9年度に設定。